

看護の日 平成29年5月26日(金)

私たちはナイチンゲールの生誕の日を記念し、看護の歴史を振り返り、看護の心、感謝の心、助け合い心を分かち合うために看護の日の活動に取り組みました。

午前中はナイチンゲールの『看護の覚え書』の中で学んだ、「看護とは環境を適切に整え、患者の生命力の消耗を最小にするように整えること」を振り返りました。そこで、患者の環境を快適に整える看護師の役割を目指すものとして、自分たちの日頃の生活を送る中での健康に影響を及ぼす環境について考えました。

3学年合同で『5S』を取り上げ、その意味と現状についてディスカッションを行いました。『5S』とは、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「しつけ」であり、自分たちの学校や日常生活の中での実施状況と課題を分析し、原因や対策を検討しました。そこで、身近な問題から意識を高め、健康の保持・増進のために自己の生活の中での環境を整える大切さを学びました。さらに、病院で『5S』が重要視されていることについても、今までの学習や実習の経験から振り返りました。医療現場では効率よく仕事を行うだけでなく、頭の中や環境を整理して、医療ミスを防ぎ、患者の生命を守ることが重要であることが理解できました。また、患者さんが安心して入院生活を送るためには、責任をもって環境を整えることが看護の役割であることも気づきました。今後は学生同士で声をかけ合いながら、学内や寮生活などの生活の中で意識的に『5S』の対策を実施していきたいと思っています。



午後は日頃から実習でご協力やご支援をいただいている患者さんや実習指導者、病院関係者の皆様に感謝の気持ちを伝えるために、清掃ボランティアに取り組みました。患者さんが日頃から使用されている車椅子やストレッチャー、点滴スタンドなどの清掃や外来、病棟内の環境整備を丁寧に行いました。また、患者さんには点滴スタンドにかけて持ち運べるような小物入れを一つ一つ心を込めて作り、患者さんの好みに添うようなデザインを選んで配らせていただきました。患者さんは大変喜んでくださり、私たちも心から温かい気持ちになりました。

この看護の日では、患者さんへ感謝の気持ちをお伝えしたいという思いで活動しましたが、患者さんからありがとうという言葉をいただき、より一層、実習で患者さんのために最善を尽くしたいという気持ちが高まりました。今回の気持ちを忘れず、日々の学習や実習へと取り組んでいきたいと思っています。

(70回生 前田)

